

平成29年度 国際かんがい排水委員会等活動支援調査業務 報告書概要

1. 業務の目的

世界各国で普及を図っている参加型水管理の更なる推進のための調査及び整理・分析を行うとともに、我が国の ICID 活動を支援することにより、我が国の有する知見を ICID 等の国際会議において情報発信し、その普及を図る。また、活発化することが想定される国際的な水議論の中で、説得力のある意見を発信するため、アジア・モンスーン地域を中心に水田農業を実施している 17 の国々や 8 つの国際機関からなるネットワーク組織である国際水田・水環境ネットワーク（INWEPF）を活用し、多面的機能が発揮されている世界農業遺産（GIAHS）地域等のケーススタディ及び多面的機能増進のための活動やその活動の継続に向けた手法の取りまとめを行うことにより、国際社会及び INWEPF 加盟国の水田の多面的機能に対する更なる理解の醸成を図る。

2. 学識経験者がICIDで活動するための支援等

(1) ICID日本国内委員会会合等に関する活動支援

2018年5月にネパール・カトマンズで開催予定であるICIDアジア地域会議において学識経験者活動支援として、日本で現在実施している多面的機能支払交付金制度について情報収集を行い、発表資料及び読み上げ原稿を作成した。

(2) かんがい施設遺産分科会会合

かんがい施設遺産分科会会合において、かんがい施設遺産申請施設選定のため、応募施設の申請書（10 件）の概要をまとめた一覧表（日本語）の作成を行うとともに、施設管理者等が作成した英文申請書等の技術用語及び技術的事項に係る表現の照査を行い、英語表現等の校正を行った。また、参加する委員の鉄道切符、航空券等の手配及びその費用の支弁を行った。

名称	日時	場所	議題	備考
ICID 日本国内委員会かんがい施設遺産分科会会合	H29 年 4/20 (木)	農林水産省内 会議室	世界かんがい遺産 の申請施設選定について	

(3) ICID日本国内委員会

ICID 日本国内委員会（以下：ICID 会合）に ICID 日本国内委員会事務局とともに参加し、委員の鉄道切符、航空券等の手配及びその費用の支弁を行い、議事録を作成した。ICID 会合においては、各委員が作成した所属部会の対処方針の取りまとめを行った。

名称	日時	場所	議題
第 1 回 ICID 会合	H29 年 5/12(金)	持ち回り開催	かんがい施設遺産分科会の調査審議結果について
第 2 回 ICID 会合	H29 年 9/26(火)	農林水産省内 会議室	第 68 回国際執行理事会、第 23 回 ICID 総会について

第3回 ICID 会合	H30年2/5（月）	農林水産省内 会議室	①第68回国際執行理事会の結果について ②世界かんがい施設遺産について ③ICID副会長選挙について
----------------	------------	---------------	--

(4) ICID第68回国際執行理事会及び総会の活動支援

メキシコ国メキシコシティで平成29年10月8日～14日の日程で開催されたICID第68回国際執行理事会及び総会にICID日本国内委員会事務局とともに参加し、会議の概要取りまとめ、資料収集、連絡調整等会議に参加するICID日本国内委員のために、会議出席の登録及び会議費の支弁（14名）、鉄道切符・国際航空券及び宿泊場所の手配並びにその費用の支弁を行った。



ICID国際執行理事会の様子



世界かんがい施設遺産の表彰

(5) 世界かんがい施設遺産登録証伝達式

日本よりICID本部に申請していた4施設（土淵堰（青森県）、那須疊水（栃木県）、松原用水・牟呂用水（愛知県）、小田井用水路（和歌山県））すべての登録が決定したことから、平成29年11月16日に世界かんがい施設遺産登録証伝達式を開催した。伝達式に参加する委員の鉄道切符、航空券等の手配及びその費用の支弁を行った。

<p>世界かんがい施設遺産登録証伝達式</p>	<p>登録盾</p>
-------------------------	------------

3. 水田の多面的機能に関する貨幣価値換算ガイドラインの策定等

(1) 水田の多面的機能の貨幣価値換算評価手法に係るマニュアル・ガイドラインの作成

過年度の水田の多面的機能の貨幣価値換算結果（洪水緩和、地下水涵養、土砂崩壊防止）及び、カンボジア国西バライ地区及びインドネシア国バリ州ジャティルイ地区において実施された観光資源機能や生態系保全機能等に係る貨幣価値評価手法（CVM手法及びトラベルコスト法）を基に、貨幣価値換算ガイドライン（日本語及び英語）を作成した。

(2) INWEPFタスクフォース会議

11月の運営会議開催に先立ち、5月10日にフィリピン国で行われたINWEPFタスクフォース会議にINWEPF日本事務局とともに2名が参加し、開催国フィリピン及びタスクフォースメンバー国である韓国代表と、11月の運営会議に向けた準備とワーキンググループ活動の進捗状況等について報告を行った。



INWEPFタスクフォース会議



タスクフォース会議 日本代表団

(3) 第14回INWEPF運営会議及びシンポジウム

11月21日～24日にフィリピン国クラーク特別経済区にて開催された第14回INWEPF運営会議及びシンポジウム（以下「運営会議」）にINWEPF日本事務局とともに参加し、水田の多面的機能の貨幣価値換算評価及びライフサイクルコストを考慮した灌漑施設整備に関する発表資料を作成した。運営会議の実施に際し、運営会議の円滑な実施のために開催国であるINWEPFフィリピン事務局をはじめ、他のINWEPFメンバー国や関係する国際機関と調整を行った。



INWEPF運営会議



発表者のトロフィー授与式

(4) アジア太平洋水サミットについて

12月11日～12日にミャンマー国ヤンゴンにて開催された第3回アジア太平洋水サミットに参加した。

テーマ別セッションでは、10つのテーマに分かれ、アジア太平洋地域の持続可能な発展に向けた道筋や取組みや、統合的水資源管理等について発表が行われた。11日には、農林水産省とFAOが「Water, Energy, Food and Ecosystems」と題した合同セッションを開催し、参加型水管理による効率的な農業用水の使用について発表や、気候変動がもたらす水資源問題や、再生可能エネルギー等について発表がなされた。



APWS開会式 アウン・サン・スー・チー
国家顧問による開会挨拶



テーマ別セッション「Water, Energy, Food and Ecosystems」での石島室長の閉会の挨拶